

# 第52回評議員会開く

## 15年度決算・16年度予算を可決

協会は第52回通常評議員会を5月21日、M&Dホールで開き、2015年度決算・16年度予算を全会一致で可決した。政府が進める社会保障削減と「戦争ができる国」づくりに反対し、医療充実を求める決議を採択した。平川光彦議長、張村善紀・南端理伸両副議長が進行し、評議員25人、役員23人が出席した。

### 戦争できる国に反対を決議 社会保障削減に反対を決議

小澤力理事長は会務報告として、15年度の協会活動を説明。安倍政権が社会保障制度を壊す「改革」を繰り返しているなかで、総会方針に従って平和と豊かな国民生活、保険で良い歯科医療の実現に向けて全力を尽くしたことを紹介した。多彩な研究会活動や共済制度の普及などに取り組んだ結果、年間の会員実増数は保団連歯科組織の中でトップの成果を挙げたことを報告。「保険で良い歯科」請願署名は大阪で3万筆超、全国で27万筆超を集め、診療報酬改定に大きな力を発揮したことを強調した。その上で、歯科医療の充実



大阪府歯科保険医協会  
会誌  
大阪府浪速区幸町1-2-33  
電話(06)6568-7731(代表)  
http://osk-net.org/  
定価・年間10,000円 月1,000円  
1977年5月23日第三種郵便物認可



答弁する小澤力理事長＝5月21日、M&Dホール

盛な取り組み——などの特徴を報告した。2号議案・収支差額処理案では、運動対策積立金や備品購入積立金に計上したことを説明。3号議案・16年度予算案では、前年を上回る会費収入を予算計上すると共に、運動費は実績を勘案して計上したことを紹介した。

### 外来環研修会に252人 関心高く過去最多の参加



年明けの夕食会には正月料理が並んだ。多くの252人が参加した外来環研修会は5月14日、M&Dホール

年齢・性別構成(堺市・平野権栄氏(口頭発言))について、発言があった。小澤理事長が答弁し、泉州地区と南河内地区の活動に敬意を表すると共に、理事・役員体制の在り方については理事会で検討していくことを説明した。採決では、1号議案、2号議案を原案通り全会一致で可決。3号議案については、指摘のあった誤植を修正の上、全会一致で可決した。(次号に評議員の発言)

社保研究部は、歯科外来診療環境体制加算の施設基準に係る研修会を5月14日、M&Dホールで開催した。診療報酬改定で新設された「か強診」の施設基準の一つに該当することもあり、関心が高く、過去最多の252人が参加した。受講者には修了証を発行した。講師は、足立平氏(神戸常盤大学短期大学部口腔保健学科教授)が務めた。

足立氏は、①偶発症に対する緊急時の対応②医療事故③感染症対策——について解説した。実際に、衛生士が遭遇した偶発症について紹介し、早期対応法や準備すべき器材(AED)、薬物(アドレナリン)の筋注やエビペンの活用などについて解説した。

感染対策については、マニュアルの作成を行い、スタッフ全員が同じ考えを共有することが重要であるとした。

医療事故の防止策について言及し、「一人は皆ミスをする」ことが前提であり、環境要因がミスの引き金になることも多いと指摘。ミスを責めるのではなく、原因の究明や環境の整備が重要であると繰り返し強調した。

事故の判例に「明日は我が身」と思えることも多々あり、自己反省をする時間にもなった。(羽曳野市・小林裕次郎)

# 医療は後回しだ

「いただきます」。「おいしいね」。大阪市生野区の住宅街の一角で子どもたちの声が弾む。貧困問題に取り組むNPO法人「CPAO(シーぱお)」大阪支店の貧困アクショングループが週3回で行う子どもたちの夕食会だ。活動はボ

「まずは、ごはん。お腹を空かせた子どもと親を孤立させない」。こう語るの、代表の徳丸ゆき子さん。食べることで



年明けの夕食会には正月料理が並んだ

えまならないシングルマザーの貧困を数多く目の当たりにしてきた。ある母親は「給料日までまた一週間あるのに、100円しかない。子どもも心中しようと思っていた」と相談を寄せた。「貧しいシングルマザーにとって『医療は贅沢品』と徳丸さん。家賃や食費、光熱費を引けば、給料日前には冷蔵庫が空っぽ。そんな親子にとって医療費は優先順位が低くなりがち。食事会に参加して

「ストップ! 患者負担増」  
格差と貧困の中で

加しても、むし歯が痛くてご飯が食べられなかったという子どももいた。食事会に参加したある中学生は、吐き気どめまいを訴えたが、母親が国保料を滞納し、資格書のため、受診をためらった。徳丸さんは、「幼いころから受診する経験が乏しい貧困世帯の子どもは、医者に行く感覚がない。目を引くような怪我をしても当たり前

遊んでいたりする。奥歯に正露丸をつめて痛みを我慢する子どももいる。貧困母子家庭

母子家庭の相対的貧困率は5割を超え、就労による収入は平均181万円だ(2011年度全国母子世帯等調査)。半数以上が非正規雇用で、仕事を掛け持ちする人も少なくない。

調査協力をお願い  
保団連は全国共同調査「地域医療における歯科医師の意識とその実態について」に取り組んでいます。対象者(1割抽出)は6月末までにご回答をお願いします。

2016夏季特集号 投稿・写真を募集

新聞部は、夏季特集号(8月15日付)への会員投稿(原稿・写真)を募集している。原稿は、600字以内で、テーマは①趣味②日常の臨床③家族や生活のこと④夏の思い出⑤エッセイ・川柳・俳句⑥旅行記——など。顔写真を同封して応募する。写真は、夏の風景や人物写真など。応募は、郵便、ファクス、メールで協会事務局まで。掲載者には薄謝進呈。

【送付先】  
〈郵便〉〒556-0021 大阪市浪速区幸町1-2-33  
〈ファクス〉06-6568-7731  
〈メール〉akira\_kn@doc-net.or.jp

歯界  
せこい、みみちい、薄汚いなど他人に笑われながら、積もりつつ現職に居座り続けるのが今の日本人なのか、あるいはそれが国際基準なのか。昔の侍なら笑われただけで腹立たらう。普通の人間の数倍以上の高給を取りながら、公金を流用して飯を食って旨いのか。市民の信託を受けているから辞職はしないとは単なる開き直りだろう。誰だって平均市民の数倍の高給取りが簡単に職を辞せるか。この旨味のある公職はオリンピックが絡みだしてからケチが付きだした。

オリンピックは薬まみれの他に銭まみれで汚職、賄賂、不正流用の温床である。誘致戦争など国際レベルでは億単位である。本物の戦争となるともう桁ほど金額が大きくなる。

日本企業が新幹線や潜水艦の受注合戦で中国に負けたのは、日本の賄賂戦略がまだ国際基準からは甘いかもしれない。地球規模のカネ汚染は国際会議で改善されるのか。